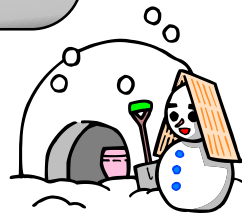


鳥小アーカイブ 冬と言えば…

第二冬休み

昭和30年台頃から、奥出雲地方では第二冬休みがあったことをご存知でしょうか。その頃小学生だった方は懐かしい思い出として脳裏に残っていると思います。



例年雪の多くなる1月下旬から2月はじめ頃の1週間は、第二冬休みとして設定されていました。ちなみに鳥上小では、昭和31年の2月11日から19日まで休日も入れて9日間、冬休みだったという記録が残っています。積雪で登下校が大変だったことに加え、暖房費を抑えることもねらいだったと思います。1週間ほどの第二冬休みは徐々に少なくなり、昭和54年を最後に記録もなくなっています。私も第二冬休みの恩恵を受けた一人ですが、裏山でスキーをしたり、そりを作って遊んだり、自分で作ったかまくらの中で食事をしたりと、雪の中での遊びをいろいろと楽しみました。実にアクティブな第二冬休みでした。

味噌汁給食

昔は給食がなくお弁当の毎日でしたが、3学期に入ると、「味噌汁給食」という名称で給食が提供されていた時代があります。昭和34年度の記録では、5月に給食用の味噌作りを行い、1月18日から味噌汁給食が始まったと記されています。保護者の方が当番で味噌汁を作られ、野菜は各家庭からの持ち出しだったようです。当時の全校児童は400名近くでしたので、味噌汁作りもさぞかしたいへんだったことでしょう。子どもたちにとっては、心もお腹もあたたまるごちそうだったと思います。